ウオッチ

市民カメラマンフォトルポ

今号は、市民カメラマンの横山廣司さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんの写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



9/23 図書館おしごと体験

小学１年生～４年生が、図書館おしごと体験に参加しました。図書館の仕事の説明を受けた後、実際に返却された本を棚に戻す作業や、本・資料の利用案内や調べ物の相談を行うレファレンスサービスを体験しました。そして、練習をしてから、実際にカウンターに出て本の貸し出し、返却のお客様対応を行いました。短い時間の練習にもかかわらず、みなさん臆することなく対応していたことに感心しました。

9/26 ものづくり企業×ミニ四駆「かかみがはら GP」を開催



市内ものづくり企業の技術や魅力を知ってもらうため、那加福祉センターで、ミニ四駆イベント「かかみがはら GP」を開催。市内７企業が各社の技術を生かしたオリジナルミニ四駆で、速さやデザイン、技術力を競いました。

ミツワ株式会社の大橋貴司さんは、「このイベントのおかげで、社員の親睦を深めることもできました」と喜びました。



10/2 木曽川３市県境連携協定に基づく合同図上訓練を実施

「木曽川３市県境連携・災害対処総合応援協定」を締結している各務原市・犬山市・江南市が、各務原市役所で合同図上訓練を実施。避難者の受け入れ、橋梁・幹線道路の通行などに関する設問に対し、対応方法などを検討しました。

参加した職員は「災害時の対応方法を学べただけでなく、顔の見える関係を築けました」と、訓練の成果を話しました。

10/17 小中一貫教育・義務教育学校に関する講演会を開催



市では、小学１年生から中学３年生までが共に学ぶ「義務教育学校」の導入を検討しています。この日、既に小中一貫教育を導入している京都市職員を講師に招き、講演会を開催。保護者など約 150 人が参加し、先進事例などを学びました。

参加した方は「学年を超えて学びを深められることを知り、不安な気持ちが少し解消しました」と、理解を深めました。

各務原しごとびと

各務原で働く「しごとびと」を紹介します。移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。



自動車整備士

塩甚モータース
佐野 大介 さん

Q どんな仕事をしているの？

車体の傷やへこみ、エンジンなどを修理したり、年次点検などを行ったりしています。これらの整備を通して、お客さまの安全を支えています。

Q 大切にしていることは？

お客さまの気持ちを考えることです。言葉で表現しづらい車の不調や、お客さまが困っていることをくみ取り、１人１人に寄り添った丁寧な対応を心掛けています。

Q 仕事のやりがいは？

車の不調や困りごとを解決し、喜んでいただけることです。「ありがとう」の言葉を聞くと、この仕事をしていてよかったと感じます。



今月のキラリ！さん

市内の輝くみなさんを紹介します

第 46 回岐阜県中学校英語弁論大会 最優秀賞受賞

長尾（ながお） 実和（みわ）さん ── 稲羽中学校の３年生。アニメや漫画が大好きで、推しは「ハイキュー !!」の黒尾鉄朗です。



英語でスピーチをする楽しさの虜（とりこ）に

９月に行われた「第 46 回岐阜県中学校英語弁論大会」で、長尾実和さんが、２年連続で最優秀賞を受賞しました。長尾さんは、「昨年、最優秀賞を受賞したため、プレッシャーを感じることもありましたが、今年も最優秀賞を受賞できてうれしいです」と笑顔を見せました。

長尾さんは、小学２年の時に英語塾に通い始めました。英語の絵本を読むことや、英語でスピーチすることなどを通して英語を楽しみ、中学生になってからも、同じ塾で学び続けました。昨年は、塾の先生に勧められて大会に出場した長尾さん。思いを伝えるスピーチの楽しさの虜になりました。「もう一度その楽しさを味わいたい」と、今年は自ら出場を決めました。

長尾さんのスピーチのテーマは、「ありのままの自分でいること」。周囲に合わせることが求められる世の中でも、自分らしく生きてほしいという思いを込めました。

大会に向け、長尾さんは自然な会話のように話すことを心掛けました。「友達と他愛もないことを話すときのように、リラックスできるかが重要です」と話し、洋楽を聞いて英語を日常に取り入れることや、外国人の先生との会話を増やすことで、英語で自然な会話ができるよう工夫してきました。

将来は、「日本と海外の架け橋になりたい」と話す長尾さん。夢に向かって、自分の思いを伝える力を磨き続けていきます。